

第6学年総合的な学習の時間指導プログラム（小学校情報教育）

学 校 名 玉山村立好摩小学校
対 象 学 年 第6学年（男子22名 女子22名 計44名）
指 導 日 平成14年9月19日（木）3・4校時
指 導 者 菊池 彰三

単元名 「創造する力、発表する力、交流する力を高めよう」

題材名 「班別学習の活動の様子を発表しよう」

単元設定の理由

1 教材観

本単元は、修学旅行中の班別学習で学んだことや心に残っていることを、事後学習として、児童が現地で収集してきた情報をもとに発表作品にまとめ、発表し交流するなかで児童の情報を創造する力、発表する力、交流する力を高め、情報活用の実践力を高めようと設定したものである。

修学旅行は児童にとって小学校生活のなかで特に心に残る活動である。なかでも班別学習は、児童が見学したい施設などを自分の計画にしたがって自由に見学することができ、事前学習で疑問に思った自分の課題を実際の見学により確かめることができるため、児童が興味をもって取り組める活動である。そこで、班別学習で学んだこと、心に残ったことを事後学習として発表作品にまとめ発表することに児童は意欲的かつ積極的に取り組めるものと考ええる。

児童は班別学習のなかで、施設などを実際に自分の目で見ることにより、新鮮な驚きとともに多くの感想をもち、収集した情報に自分の考えや感想を加えて新しい情報としての発表作品を創り出すことができると考える。

また、グループによって見学する施設などが異なり、ほかのグループがどんなことを学び、どんなことが心に残ったかは発表し合わなければ知ることができない。そこで、班別学習で学んだこと、心に残ったことを現地で撮影した写真やさまざまな資料をもとに発表作品にまとめ発表することにより、それぞれが班別学習で学んだことを児童全体のものとしてでき、そこに発表することの意義や必要性を感じることができると考える。また、家庭の人にも発表を聞いてもらったり、学校の全児童へ発表作品をウェブページとして発信したりすることを事前に知らせることにより、発表の目的意識や相手意識、活動への意欲を高められるものと考ええる。

さらに、中間発表後に意見を交流し、互いの発表作品のよさを認め合い、よりよい作品にするための改善点をもとに再び情報を創造することにより情報の質が高まり、意見を交流することや再び情報を創造することの意義をとらえさせることができると考える。また、創造した発表作品を発表することや発表作品を校内全児童が自由に見られるようにウェブページとして教室内LAN上に発信することにより、活動に対する成就感や達成感を高められるものと考ええる。

2 児童観

児童はこれまでに、第5学年の総合的な学習の時間の取り組みとして、個人研究のまとめをワークショップ形式で発表活動を行った。それぞれが、長期間研究した内容を模造紙やノートなどにまとめ、一定の時間内に自由に発表を行った。児童によっては自分の研究内容を短くまとめ、聞き手に内容を正しく、分かりやすく伝えられるよう工夫して発表することができた。しかし、多くの児童は、発表の仕方や話し方を工夫できず、模造紙に書いた文章をただ読み上げる発表が多く、児童が発表し伝えたいことを伝えられずに終わった傾向があった。

また、児童は校外学習の事後学習としてコンピュータを使い、校外学習のさまざまな活動を第4学年の児童に紹介するためのウェブページ作成を行っている。児童は意欲的に学習に取り組み、コンピュータ操作にだいが慣れることができた。

しかし、各自が分担した1ページを教師の用意した写真素材を使い、活動の簡単な紹介を文章で表現するだけの活動であったため、教師のねらいとしていた豊かな表現まで作品を高めることはできなかった。また、作品に対する感想や意見の交流を行わず、その後の表現活動への意欲を高めることはできなかった。

そこで、本単元では、修学旅行の班別学習で学んだこと、心に残っていることを、児童が収集してきた情

報をもとに、グループで話し合いながら、素材を追加したり、選択したり、構成したり、編集したりして、自分の意図に合った発表作品を創り出し、相手に正しく、分かりやすく発表できるようにしていきたい。また、発表についての感想や意見を交流することにより、それぞれのよさを認め合い、意見をもとに再び情報を創造することにより、児童の創造する力、発表する力、交流する力を高めたいと考える。

3 指導観

指導にあたっては、班別学習で学んだこと、心に残っていることを発表作品にまとめ、発表し合い交流する活動に、創造・発表・交流を支援するコンピュータ教材を用いながら情報活用の実践力を高めていきたい。

まず、発表作品にまとめる情報を創造する段階では、グループ全体としてみんなに伝えたい発表主題を決定する。その後、発表主題に合わせて児童が収集した写真素材や資料素材に情報を追加し、それらのなかから発表に使う素材を選択し、意図に合わせて選択した素材を構成し、素材の内容が効果的に伝わるよう素材の編集を行わせる。その際には、一人一人の考えをもとにそれぞれの考えを比較検討し決定するグループの協同活動を大切に、発表主題が伝わる発表作品が創造できるようにしたい。

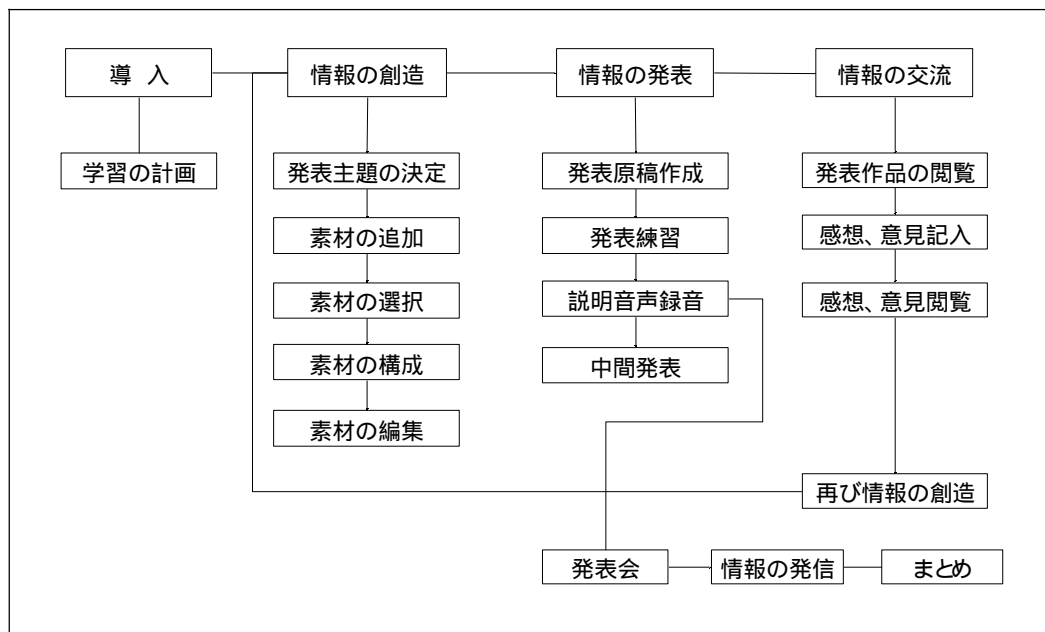
次に、情報を発表する段階では、伝えたい発表主題が、時間内に正しく、分かりやすく伝わるよう、グループ内で聞きやすい話し方や分かりやすい説明を考え発表原稿を作成し、グループ内で意見を交流しながら繰り返し練習することにより、発表主題が正しく、分かりやすく聞き手に伝わるようにしたい。

最後に、情報を交流する段階では、各グループの発表について、よさを認め合い、よりよい発表となるよう意見を交流し、意見をもとに発表作品を再び創造することにより、意見を交流し合うことや再び情報を創造することの意義や必要性をとらえさせたい。また、作品の創造後に再び発表会を行い、その後発表作品をウェブページとして校内全児童が見られるように教室LAN上に発信し、児童の学習への成就感や達成感を高めたい。

単元の指導目標

- 1 発表主題に合わせ、収集した情報をもとに情報を加えたり、選択したり、構成したり、編集したりして自分の意図に合った新しい情報を創り出せるようにする。(創造する力)
- 2 創造した情報を相手に正しく、分かりやすく発表できるようにする。(発表する力)
- 3 発表について、よさに気づき認め合いながら、よりよい情報を創造できるように意見を交流できるようにする。(交流する力)

指導の構造図



単元の指導計画 (全15時間)

- 第 1 時「班別学習の取材計画をたてよう」
- 第 2・3 時「発表主題を決め、材料のつけたしと発表に使う材料を選ぼう」
- 第 4・5 時「発表主題に合わせ、作品の構成と編集を考えよう」(本時)

- 第6・7時「分担した材料の発表原稿を作成し、発表練習をしよう」
- 第8・9時「発表主題が伝わるように中間発表をしよう」
- 第10・11時「発表会に向け、中間発表について意見を交流しよう」
- 第12・13時「友だちの意見をもとに、もう一度創造しよう」
- 第14・15時「完成した作品を発表し、学習のまとめをしよう」

本時の学習（第4・5時）

- 1 主 題 「発表主題に合わせ、作品の構成と編集を考えよう」
- 2 指導目標

班別学習の活動の様子を発表するために、コンピュータ教材を活用させながら、選択した素材を発表主題に合わせて構成させるとともに、効果的に発表主題が伝わるように素材を編集をさせることにより、構成する力と編集する力を高める。

- 3 目標行動（◎とする）

発表主題に合った素材の構成を決定することができ、効果的に発表主題が伝わるように素材を編集することができる。

- 4 下位目標行動（レディネスは^Rとする）

編集した結果が発表主題を効果的に表しているか説明することができる。

発表主題が効果的に伝わるように、素材を編集することができる。

編集する素材の編集分担をグループ全体で決定することができる。

素材の編集内容をグループ全体で決定することができる。

素材の編集内容を小グループで決定することができる。

素材をどのように編集したいか説明することができる。

素材をどのように編集したいか個人で決定することができる。

編集する素材をグループ全体で決定することができる。

編集する素材を小グループで決定することができる。

編集する素材を選んだ理由を説明することができる。

編集する素材を個人で決定することができる。

素材の構成が発表主題に合っているか説明することができる。

素材の構成をグループ全体で決定することができる。

素材の構成を小グループで決定することができる。

素材の構成を考えた理由を説明することができる。

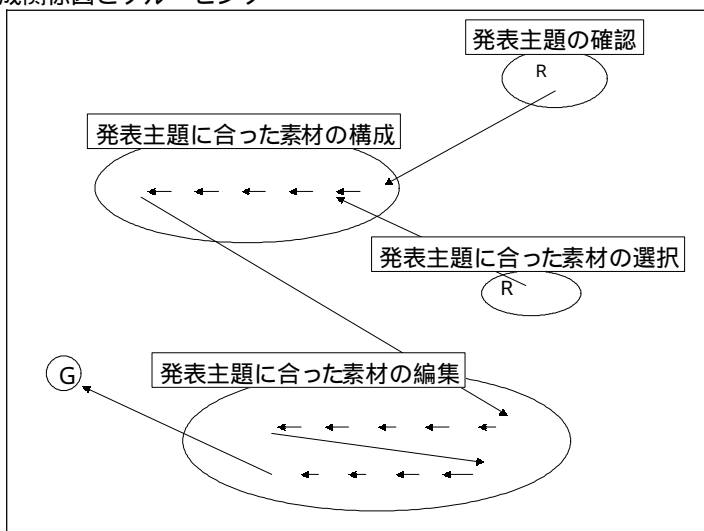
素材の構成を個人で決定することができる。

発表主題を発表することができる。

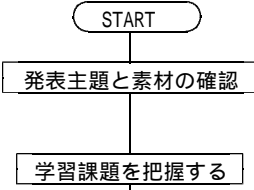
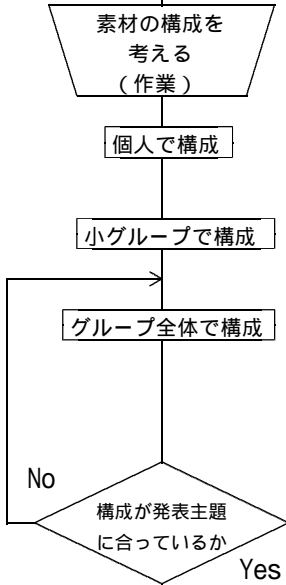
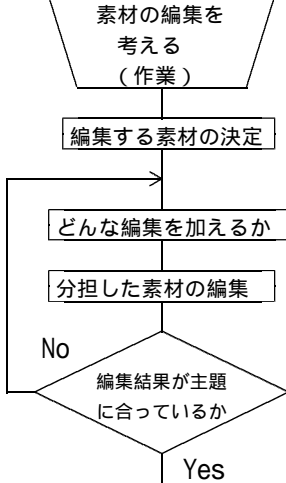
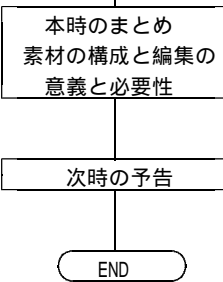
^R 素材のなかから発表に必要な素材をグループ全体で選択することができる。

^R 発表主題をグループ全体で決定することができる。

- 5 形成関係図とグルーピング



6 本時の展開 (第4・5時)

T	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具・教育機器と留意事項
8分	<p><導入></p> <p>1 発表主題と選択した素材を確認する。 (R R)</p> <p>・発表主題を発表する()</p> <p>2 学習課題を把握する。 「発表主題に合わせ素材の構成と編集を考えよう」</p>	 <pre> graph TD START([START]) --> A[発表主題と素材の確認] A --> B[学習課題を把握する] </pre>	<p>・学習プリント</p> <p>・素材の構成と編集を考えることにより、より効果的に発表主題が伝わることを確認し、学習活動への意欲を高める。</p> <p>・コンピュータ教材 素材の構成と編集を行う操作方法を教師機画面転送機能を用い説明する。</p>
35分	<p><展開></p> <p>3 発表主題に合った素材の構成を考える。</p> <p>・個人で構成する()</p> <p>・小グループで構成する()</p> <p>・グループ全体で構成する()</p> <p>4 グループで考えた構成が発表主題に合っているか検討し、構成を決定する。()</p>	 <pre> graph TD A[素材の構成を考える(作業)] --> B[個人で構成] B --> C[小グループで構成] C --> D[グループ全体で構成] D --> E{構成が発表主題に合っているか} E -- No --> D E -- Yes --> F[] </pre>	<p>・コンピュータ教材 前時に選択した素材をそれぞれ構成し、考えた構成をもとに発表主題が効果的に伝わる構成になるようお互いの構成を二台のコンピュータ画面で確かめ、直接比較しながらグループ全体で話し合い構成を決定させる。</p> <p>・学習プリントに、自分で考えた構成(素材番号)と、なぜそのように構成したかの理由を記入させる。</p> <p>・小グループが考えた構成のどの構成を採用するかではなく、それぞれの構成のよさと、発表主題を効果的に伝えられる構成はどうかという観点でグループ全体の話し合いで構成を修正させ、全体として構成を決定させる。</p> <p>・発表主題が効果的に伝えられる素材の構成になっているか、もう一度グループ全体で話し合わせ、考えさせる。</p>
35分	<p>5 発表主題に合った素材の編集を考える。</p> <p>・編集する素材を決定する(小グループで)</p> <p>・編集する素材を決定する(グループ全体で)</p> <p>・どんな編集を加えるか()</p> <p>・編集を分担する()</p> <p>・素材を編集する()</p> <p>6 素材の編集結果が発表主題に合っているか検討する。()</p>	 <pre> graph TD A[素材の編集を考える(作業)] --> B[編集する素材の決定] B --> C[どんな編集を加えるか] C --> D[分担した素材の編集] D --> E{編集結果が主題に合っているか} E -- No --> C E -- Yes --> F[] </pre>	<p>・コンピュータ教材 構成ができあがった素材を、発表主題に合わせ、発表主題が効果的に伝わるように編集させる。</p> <p>・学習プリントに、編集したい素材の番号、理由、どんな編集をしたいか記入させる。</p> <p>・画面の装飾だけにしないよう、発表主題が効果的に伝わるように編集するという観点で素材の編集ができるようにする。</p> <p>・発表主題が効果的に伝えられる素材の編集になっているか、もう一度グループ全体で話し合わせ、考えさせる。</p>
12分	<p><まとめ> (◎)</p> <p>7 素材の構成や編集を考えていない場合と比較する。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	 <pre> graph TD A[本時のまとめ 素材の構成と編集の意義と必要性] --> B[次時の予告] B --> C([END]) </pre>	<p>・構成や編集例の比較を教師から提示し、発表主題に合わせて素材の構成や素材の編集をすることの意義や必要性をとらえさせる。</p> <p>・学習プリントに本時の学習の振り返りを記入させる。</p> <p>・次時の学習内容を知らせ、学習課題を確認させる。</p>